



主 内容

- 2……国保特定健診・国保特定健診プラス・後期高齢者健診
- 3……年金通信、「認知症の人と家族の会」つどい・交流会
- 4……体力・運動能力調査にご参加ください

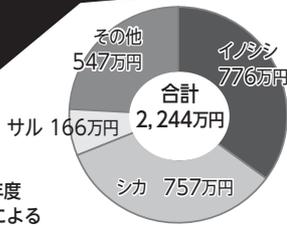
発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



サル・シカ
などの

野生動物たちと 共存していくために

新しい鳥獣害対策 モンキードッグの取組み



平成24年度
野生鳥獣による
名張市の農作物
の被害額(万円)

※その他には、アライグマ・ヌートリアといった外来種、カラス・ムクドリなどの鳥類が含まれます。万円未満で四捨五入しているため合計額は合いません。

野生鳥獣による農作物被害は深刻です。

野生鳥獣による農作物の被害額は約2,244万円になっています(平成24年度)。市では、防護柵の整備や猟友会に協力をいただき駆除などの対策を進めています。また、農業だけでなく、ニホンザルが住宅地へ出没したり、シカが自動車と衝突したりするなど生活環境被害も発生しています。

そんな中、新しい鳥獣害対策として注目されるのがモンキードッグです。今号では、モンキードッグ倶楽部の達さんにお話を聞きました。

☎ 農林資源室 ☎ 63-7625

モンキードッグとは

農作物を荒らすサルを山へ追い払うため、訓練した犬を活用する取組み。半年間訓練した犬は、市から認定を受けます。現在、名張市と宇陀市で17頭が認定されています。

昨年度は、15回出動し、一定の効果も上げています。



モンキードッグの活動を広めたい

モンキードッグ倶楽部代表 ^{つじ} 達 敏也さん



名張市と宇陀市が、県境を越えて野生動物の対策を考える協議会を立ち上げました。その中で名張・宇陀でモンキードッグ(野生動物追い払い犬)研修があることを知

り挑戦しました。農家でもありませんし、野生動物による農業被害の実態も知らなかったのですが、犬を訓練でき、社会に役立てるならと思いました。

半年間訓練をして、モンキードッグとしての認定を受けました。実際の活動では、野生動物が出没すると、その場所で犬を放し、追い払うことができました。すぐに効果を実感できましたね。

一緒に訓練を受けたメンバーたちと「このまま別々に活動するのはもったいない、私たちがこの活動を広げていこう」とモンキードッグ倶楽部を立ち上げました。

野生動物の追い払いに年間十数回出動しています。その他、会合を開いたり、会報紙を作ったりして、訓練や活動、野生動物の実態調査などの情報を共有しています。今は、モンキードッグとして活躍する犬を増やすため、訓練できる人材養成にも力を入れています。

この活動を通して、野生動物による農作物の被害が深刻で、このままでは農業が衰退しかねないと感じるようになりました。また、住宅地でも野生動物は出没するようになってきました。動物に罪はありませんが、共存できる対策が必要ですね。

これからも、できるだけ多くの人に、モンキードッグの活動を知ってもらいたいと思っています。皆さんの理解と協力があれば、活動の範囲を広げることができ、追い払いによる効果を高めることができると思います。



犬が出動するとき、飼い主が着用する黄色のジャンパー

全国でサル追い払い犬の成果を確認 5月20日開催のモンキードッグ記念講演会より

25都道府県77市町村で実施されているモンキードッグの活動を全国調査しました。8割の自治体が「犬は人の追い払いよりも効果的」と回答しています。犬を活用することで、農作物への被害が減少していることが分かります。

全国で、農業従事者以外が中心となり、ボランティアで県境を越え活動しているのは、名張・宇陀の「モンキードッグ倶楽部」だけです。課題もありますが、今後も、野生ザルを駆除してしまいうのではなく、地域で取り組むことが必要だと思います。市と検証、情報共有しながら進めてほしいです。



東京大学大学院研究科
山口 薫さん

講演会の視察に訪れた
安倍晋三総理の夫人である
安倍 昭恵さん



講師の山口さんとは知人で、今回視察に伺いました。動物に優しい社会は人間にも優しい。駆除ではなく追い払う方法をあらためて認識しました。動物と共存する取組みを総理にも報告したいです。